

2020年1月

美しき、禪リレー

『あと少し、もう少し』

瀬尾まいこ 新潮文庫

明けましておめでとうございます。

皆さんはお正月をどのように過ごされましたか？

お正月の2日、3日には恒例の箱根駅伝を見た人も多いのではないのでしょうか？今年も箱根の山を背景に、ライブでノンフィクションのドラマを見ることができましたね。

2020年の幕開けは、『そして、バトンは渡された』で昨年度の本屋大賞に輝いた、瀬尾まいこさんの駅伝をテーマにした小説『あと少し、もう少し』（新潮文庫）を取り上げました。

市野中学校陸上部は駅伝県大会出場を目指して練習に励んでいましたが、駅伝出場人数6人にメンバーが足りません。部長の3年榊井、設楽と2年の俊介の3人です。しかも顧問だったベテラン先生は異動になり、代わりにやって来たのは、駅伝のことは何も知らない頼りない美術科の上原先生。急遽集めた3人のメンバーは、吹奏楽部の渡部、ムードメーカーのジロー、不良の大田。チームは正に寄せ集めの6人です。どうなる市野中学陸上部！？エントリーはできたものの、果たしてアンカーまで禪を繋ぐことができるのか？そしてその先の県大会出場の夢には届くのでしょうか？バラバラだった6人が、ぶつかり合いながらも練習を積むにつれ、次第にそれぞれを理解するようになっていきます。

皆さんと同年代の彼らが、各々悩みを抱えもがき苦しむ姿にはきっと共感できるかと思えます。小説の中で彼らと一緒に美しい青春の汗と感動の涙を流しませんか？

合わせて読みたい

『駅伝ランナー』佐藤いつ子 角川文庫（文庫BGS150にあります）

2020年も"美"を巡ってさまざまなジャンルの本をご紹介します。

今年もどうぞよろしくお願いいいたします。

瀬尾まいこ プロフィール

1974（昭和49）年、大阪府生れ。大谷女子大学国文科卒。中学校国語講師を9年務めた後、2005年から2011年に退職するまでは中学校で国語教諭として勤務する傍ら執筆活動を行なう。『卵の緒』で坊っちゃん文学賞大賞を受賞。2005年『幸福な食卓』で吉川英治文学新人賞。2008年『戸村飯店 青春100連発』で坪田譲治文学賞受賞。2019年『そして、バトンは渡された』で本屋大賞受賞。

瀬尾まいこさんの作品

『天国はまだ遠く』
『強運の持ち主』
『温室デイズ』
『図書館の神様』
『優しい音楽』
『おしまいのデート』
『僕らのごはんは明日で待ってる』
など多数。
瀬尾まいこさんの作品を読むと、
こころがほんわか温かくなって癒
されます。